

(別紙)

地域サポート計画(新規就農者向け)

都道府県名	鳥取県	市町村名	大山町	問合せ 窓口	(組織名) 大山町役場 農林水産課 (住所) 鳥取県西伯郡大山町赤坂66	(電話) 0858-58-6116 (メールアドレス) ※HP掲載可能な情報を記載
-------	-----	------	-----	-----------	---	--

第1 新規就農者に関する目標及び実績(必須)

(単位:人)

	目標		直近過去実績				備考 (年度の考え方等、補足説明が 必要な事項がある場合は記載)			
	令和3年度		令和2年度		令和元年度			平30年度		
		うち49歳以下		うち49歳以下		うち49歳以下		うち49歳以下		
新規就農者数(必須)	20	15	31	24	15	14	24	19	新規参入者数:非農家出身者で当該年度の4月から3月までに就農した者の数及び農家出身者で実家の農業とは別に就農した者 新規自営農業就農者数:農家出身者で、当該年度の4月から3月までに実家の農業に就いた者の数 新規雇用就農者数:当該年度の4月から3月までに農業法人等に雇用された者の数	
内訳	新規参入者数	3	3	6	6	3	3	9		7
	新規自営農業就農者数	3	2	4	1	0	0	1		1
	新規雇用就農者数	14	10	21	17	12	11	14	11	

注1:「新規参入者」とは、土地や資金を独自に調達(相続・贈与等により親の農地を譲り受けた場合を除く。)し、当該年度に新たに農業経営を開始した経営の責任者及び共同経営者をいう。
なお、共同経営者とは、夫婦がそろって就農、あるいは複数の新規就農者が法人を新設して共同経営を行っている場合における、経営の責任者の配偶者又はその他の共同経営者をいう。

注2:「新規自営農業就農者」とは、家族経営体(1世帯(雇用者の有無を問わない)で事業を行う者をいう。なお、農家が法人化した形態である一戸一人法人を含む。)の世帯員で、当該年度に生活の主な状態が、「学生」から「自営農業への従事が主」になった者及び「他に雇われて勤務が主」から「自営農業への従事が主」になった者をいう。

注3:「新規雇用就農者」とは、当該年度に新たに法人等に常雇い(年間7か月以上)として雇用されることにより、農業に従事することとなった者(外国人研修生及び外国人技能実習生並びに雇用される直前の就業状態が農業従事者であった場合を除く。)をいう。

第2 新規就農者への地域サポート内容

1 地域の紹介等(必須)

就農希望者に向けたサポート宣言	関係機関より技術・経営指導、農地確保の支援と、住居に係る支援として町担当課より町営住宅と空き家のご案内をしています。
地域と農業の紹介文	大山町は豊かな土壌に恵まれており農業が盛んです。主にブロッコリー・白ねぎ・梨が特産で、特にブロッコリーは西日本有数の産地です。産地の農業の活性化のため、担い手農家や農業の後継者の育成、新規就農者の支援に力を入れています。
主な農産物	ブロッコリー、白ねぎ、梨
地域が求める新規就農者	大山町に定住し、特産品の担い手となり、農地の管理を含め地域との関わりを大切に信頼される方。独立就農への強い気持ちを持っている方。

2 地域サポート体制(必須)

支援分野	担当機関・部署名	支援分野	担当機関・部署名
技術・経営指導	鳥取県大山普及支所、営農センター	販路支援	
農地確保支援	大山町農業委員会、農地中間管理機構	生活に係る支援 (住居、子育て等)	空き家、移住関係:大山町企画課 町営住宅関係:大山町建設課
機械・施設等の確保支援	鳥取県就農条件整備事業(県・町補助)	事務局・全体調整	大山町 農林水産課
資金相談	JA鳥取西部 信用部企画推進課		
農業者による指導	指導農業士、農業委員		

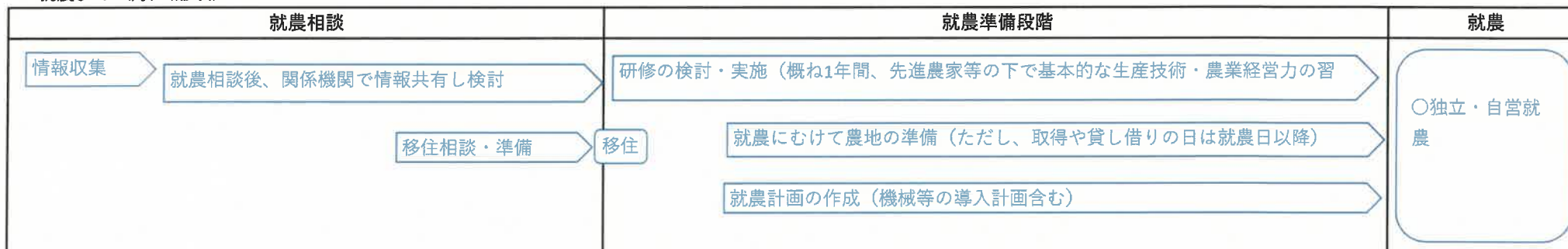
3 新規就農者への支援内容(取り組んでいる支援を記載)

区分	支援項目	支援内容の紹介
就農意欲喚起	○ 就農・移住相談対応	<ul style="list-style-type: none"> ・随時:就農相談 大山町農林水産課 ・随時:移住相談 大山町企画課
	就農体験ツアー・インターンシップの実施	
	ホームページ、パンフレット等での情報提供	
	その他	
就農前の支援	研修の実施(生産技術・農業経営の研修、研修先とのマッチング等)	
	○ 就農計画作成サポート	<ul style="list-style-type: none"> ・大山普及支所、大山町農林水産課
	○ 農地、施設・機械のあっせん、営農資金の相談等	<ul style="list-style-type: none"> ・農地:大山町農業委員会、農地中間管理機構 ・営農資金:JA鳥取西部 信用部企画推進課
	販路確保、販路開拓に向けた支援	
	○ 生活に関わる支援(住居のあっせん・手当、研修手当、子育て支援等)	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家、移住関係:大山町企画課 ・町営住宅関係:大山町建設課
	その他	

就農後の定着・経営発展に向けた支援	<input type="checkbox"/>	就農後の生産技術・経営力向上のための指導、研修	・生産技術指導：大山普及支所
	<input type="checkbox"/>	規模拡大に向けた農地、施設・機械のあっせん、営農資金の相談等	・農地：大山町農業委員会、農地中間管理機構 ・営農資金：JA鳥取西部 信用部企画推進課
		販路確保、販路開拓に向けた支援	
		地元農家や地域住民との交流促進の取組	
	<input type="checkbox"/>	生活に関わる支援(住居のあっせん・手当、子育て支援等)	・空き家・移住関係：大山町企画課 ・町営住宅関係：大山町建設課
		その他	

注：地域で実施している支援について、「支援項目」欄の該当項目に○を付け、取組の詳細や新規就農者にアピールしたい内容を「支援内容の紹介」欄に記入

4 就農までの流れ(必須)



5 経営開始5年目の農業経営の目標・農業経営モデル

(1) 経営開始5年目の目標(主たる従事者1人当たり)(必須)

年間所得	214 万円	年間労働時間	2148 時間
------	--------	--------	---------

(2) 経営開始5年目の目標となる農業経営モデル(必須)

営農類型	品目	経営規模(a、頭数等)	収量	収支	労働力	主たる従事者1人当たり労働時間	備考
施設野菜	ブロッコリー(初夏)	120 a	960 kg/10a	売上 1638 万円	専従 0 人	2,148 h/年	青色申告の実施
	ブロッコリー(秋冬)	380 a	960 kg/10a	経費 1424 万円	臨時雇用 0 人		
	スイートコーン	20 a	1100 kg/10a	所得 214 万円	パート 3 人		
主な施設・機械等	作業場(木造30㎡)	1 棟	ロータリー(180cm)	1 台	動力噴霧器(6ps)	1 台	
	パイプハウス(6m×40m)	1 棟	全自動移植機(2.9ps)	1 台	軽トラック(660cc)	1 台	
	トラクター(4WD)34ps	1 台	ブロードキャスト(300%)	1 台			

注: 必要に応じて適宜行を追加して記入してください。

(3) その他情報(任意、自由記載)

【経営管理の方法】

・複式簿記記帳の実施により、財務管理・資金管理を徹底する。業務分担、労働時間、休日、休暇等の就業条件等を明確にする。

【農業従事の態様】

・農繁期には臨時雇用を行う。肥培管理等の適切な栽培管理が実施できるよう留意する。

【生産方式】

・ブロッコリー、スイートコーンの収穫時期に配慮して作期の分散を図り、作業の集中を避ける。効果的な雇用により収穫調整等を実施する。

注: 必要に応じて適宜行を追加して記入してください。

(1) 経営開始5年目の目標(主たる従事者1人当たり)(必須)

年間所得	2381 万円	年間労働時間	2074 時間
------	---------	--------	---------

(2) 経営開始5年目の目標となる農業経営モデル(必須)

営農類型	品目	経営規模(a、頭数等)	収量	収支	労働力	主たる従事者1人当たり労働時間	備考
施設野菜	白ねぎ(春)	30 a	2880 kg/10a	売上 938 万円	専従 1 人	2,074 h/年	青色申告の実施
	白ねぎ(夏)	30 a	2400 kg/10a	経費 700 万円	臨時雇用 0 人		
	白ねぎ(秋冬)	40 a	2640 kg/10a	所得 238 万円	パート 1 人		
主な施設・機械等	作業場(木造)	1 棟	トラクター(4WD)25ps	1 台	管理機(5.5ps)	1 台	
	倉庫(鉄骨)	1 棟	ロータリー(160cm)	1 台	ねぎ掘取管理機(6.0ps)	1 台	
	パイプハウス(6m×40m)	1 棟	動力噴霧機(3.5ps)	1 台	ねぎ皮剥機・コンプレッサー(電動)	1 台	
	自動結束機(電動)	1 棟	軽トラック(660cc)	台			

注: 必要に応じて適宜行を追加して記入してください。

(3) その他情報(任意、自由記載)

【経営管理の方法】

・複式簿記記帳の実施により、財務管理・資金管理を徹底する。業務分担、労働時間、休日、休暇等の就業条件等を明確にする。

【農業従事の態様】

・農繁期には臨時雇用を行う。肥培管理等の適切な栽培管理が実施できるよう留意する。

【生産方式】

・白ねぎの収穫時期の労力を考慮して、作期の分散を図り作業の集中を避ける。・効果的な雇用により収穫調整等を実施する。

(1) 経営開始5年目の目標(主たる従事者1人当たり)(必須)

年間所得	288 万円	年間労働時間	1043 時間
------	--------	--------	---------

(2) 経営開始5年目の目標となる農業経営モデル(必須)

営農類型	品目	経営規模(a、頭数等)	収量	収支	労働力	主たる従事者1人当たり労働時間	備考
施設野菜	おさゴールド	0.2 ha	3420 kg/10a	売上 1134 万円	専従 1 人	1,043 h/年	青色申告の実施
	なつひめ	0.1 ha	3600 kg/10a	経費 846 万円	臨時雇用 0 人		
	新甘泉(ジョイント)	0.2 ha	3150 kg/10a	所得 288 万円	パート 1 人		
	秋甘泉(ジョイント)	0.1 ha	3150 kg/10a				
	王秋	0.1 ha	5400 kg/10a				
主な施設・機械等	多目的防災施設(鉄柱鉄線)	4	網(5mm)	4	ロータリーモア(自走6ps)	1 台	
	梨棚(鉄柱鉄線)	3	トラクター(25ps)	1 台	深堀ロータリー(直装3p)	0.2 台	
	作業場(木造50㎡)	1 棟	ロータリー(160cm)	1 台	動力運搬車(5ps、500kg)	1 台	
	農機具格納庫(鉄骨5.7㎡)	1 棟	スピードスプレーヤ(1000ℓ)	0.2 台	軽トラック(660cc)	1 台	

注: 必要に応じて適宜行を追加して記入してください。

(3) その他情報(任意、自由記載)

【経営管理の方法】

・複式簿記記帳の実施により、財務管理・資金管理を徹底する。業務分担、労働時間、休日、休暇等の就業条件等を明確にする。

【農業従事の態様】

・農繁期には臨時雇用を確保し、過重労働にならないようにする。

【生産方式】

・新品種を導入し、収益性の向上、労働時間の分散を図る。新甘泉と秋甘泉はジョイント栽培とする。網掛け施設栽培(新甘泉、秋甘泉、王秋)で気象災害、病虫害被害等の軽減を図る。